

# 星のたより

2024(令和6)年  
1月号  
Vol. 352

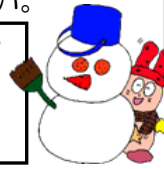
☆今月の豆知識☆  
❶ りん座って星座があるんだって。秋の星座「ペルセウス座」と冬の星座「ぎょしゃ座」の北側にあるけど、明るい星が少ないから結ぶのは難しそうだね。ぎょしゃ座の1等星「カペラ」と北極星を目印にすると、星座の場所はわかりやすいよ。星がたくさん見えるところでチャレンジしてみてね。

## 第29回雪まつり開催

～寒さに負けず、雪で遊ぼう～

さじアストロパーク・冬恒例のイベント「第29回雪まつり」。今年2月11日(日・祝)、12日(月・振休)の2日間でおこないます。詳しくは、さじアストロパークのHPにあるイベントチラシをご覧ください。

日時：2024年2月11日(日祝)、12日(月振) 10時～17時  
参加費：一般(高校生以上) 500円、小中学生 200円  
コーナーにより、事前に予約が必要なものがあります



## 冬の佐治を楽しもう

～楽しいメニュー満載～

五しの里さじ地域協議会 体験部会の主催(協力:さじアストロパーク)により、冬の佐治を楽しむイベントがおこなわれます。工作、食べ物、体験など楽しいメニューがたくさんありますので、「これやりたい!!」というメニューがありましたら、さじアストロパークに予約してくださいね。メニューによって参加費がかかります。詳しくは、QRコードからさじアストロパークのHPをご覧ください。



メニューと日程：すべてのメニューがプラネタリウム観覧とセットになります  
①手すき和紙の時計作り：1月7日(日)、②手作り望遠鏡工作：1月8日(月・祝)、  
③やきいも体験：1月14日(日)、④木のスプーン・アイスクリーム作り：1月28日(日)、  
⑤竹そり作り：2月4日(日)・23日(金・祝)、⑥スノーシュー体験：2月18日(日)、  
⑦木のイス作り：3月3日(日)

## イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。  
公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「アストロ宇宙写真展」12月13日(水)～2024年3月17日(日)  
さじアストロパーク職員が撮影した、星や宇宙の写真を解説付きで展示します。

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク  
第2部 テーマ番組「ゆるり星空めぐり～北極星(ポラリス)をみつけよう」  
12月20日(水)～2024年2月18日(日)

☆夜間観望会☆ ☆1月のテーマとおすすめ情報

星の集まり・すばる、木星	6(土)		
オリオン大星雲、木星	13(土)		
月、木星	20(土)		
おうし座の1等星・アルデバラン、木星	27(土)		
観望会で満天の星が楽しめる	5(金)～8(月・祝)、11(木)～14(日)、31(水)		
観望会で月がよく見える	17(水)～21(日)、24(水)～28(日)		
宇宙ふしぎ探検「冬の星座を観察しよう」 会場：国府町コミュニティセンター	13(土) 18:30～19:30		

☆1月の休館日 1(月)～3(水)、9(火)、10(水)、15(月)、16(火)、22(月)、23(火)、29(月)、30(火)  
注：4日(木)は17時15分で閉館のため、夜間観望会はありません。



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

## 1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。前半のライブトークでは、当日夜に見える星空や季節の星座などを紹介しています。

### 後半のテーマ番組「ゆるり星空めぐり～北極星を見つけよう」

冬のテーマ番組「ゆるり星空めぐり～北極星を見つけよう」が12月20日から始まりました。ポラリスとも呼ばれる北極星ですが、名前はよく知られているのに星空ではあまり目立ちません。今回は、そんな北極星の秘密についてゆるりとお話します。

投影期間：12月20日(水)～2024年2月18日(日)



プラネタリウム・天体観察会  
どちらも定員40名で実施中

## 2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察しています。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



### 1月の注目天体情報

#### ☆今年一番小さな半月と一番大きな半月

スーパームーンという言葉聞いたことはありませんか。スーパームーンとは、大きく見える満月のことです。月は地球の周りを一月弱で一回りしていますが、地球から月までの距離はいつも同じではありません。少し離れたり近づいたりしているのです。地球から月までの平均距離は約38万kmで、近いと約35万km、遠いと約40万kmになります。満月の頃に月が地球に近いと、その満月は大きく見えるためスーパームーンとなります。

これは満月に限らず半月も同じで、大きく見える半月と小さく見える半月があります。2024年の1月にそのチャンスがあります。1月4日の夜明けに見える下弦の月が今年のもも小さな下弦の半月に、そして1月18日の夕方に見える上弦の月が今年のもも大きな上弦の半月になります。

逆に、今年のもも大きな下弦の半月は6月29日、最も小さな上弦の半月は7月14日です。

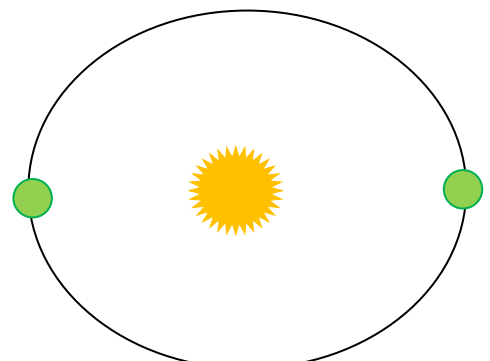
#### ☆地球が一番暑い日

実は地球と太陽の距離も、遠くなったり近くなったりしています。これは、地球が円ではなく、だ円軌道で太陽をまわっているためです。太陽との距離が短くなるのは毎年1月初めのころで、今年1月3日に1億4710万kmと距離が最も短くなります。反対に今年最も遠くなるのは、7月3日でその距離は1億5210万kmです。最も遠い日と比べると1月3日は500万kmも太陽に近づくため、日本では寒い時期ですが、地球にとっては、一年で一番暑い日になります。



大きな下弦(左)と小さな上弦(右)  
2015年撮影

1月の半月はこの逆になります。

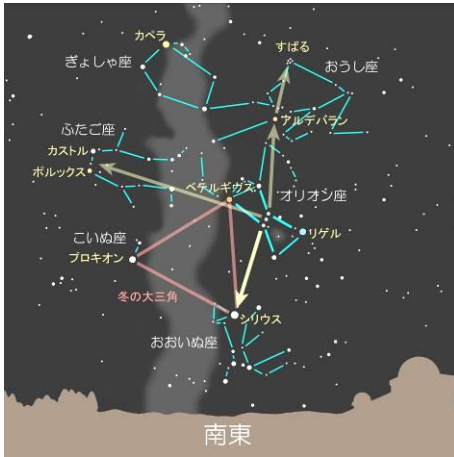


太陽の周りをだ円軌道で回る地球

## 冬の星座

冬は明るい星をたくさん見ることができます。その明るい星が目印となります。オリオン座を使って明るい星を目印にほかの星座を探してみましょう。

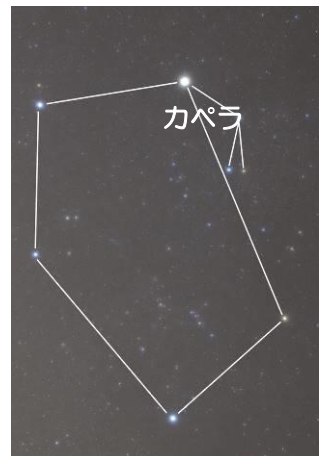
### 星座を探してみよう



まずは、冬を代表する星座「**オリオン座**」を探してみましょう。目印は4つの星に囲まれた三ツ星です。オリオン座の三ツ星を結んで上にのぼすと「**おうし座**」の「**アルデバラン**」を見つけることができます。おうし座は大きなVの字が目印です。おうし座の右の角の星から五角形に結ぶと「**ぎょしゃ座**」です。三ツ星を下にのぼすと「**おおいて座**」の「**シリウス**」を見つけることができます。オリオン座の「**リゲル**」と「**ベテルギウス**」を結んで伸ばすと、「**ふたご座**」の「**ポルックス**」を見つけることができます。ポルックスの隣にある明るい星は「**カストル**」です。

### ぎょしゃ座

ぎょしゃ座は五角形が目じるしとなります。ぎょしゃとは、車をあやつる人です。この五角形の中でひときわ明るく輝いているのが「**カペラ**」です。カペラは一番北にある一等星です。その為、北海道の北部では、1年中沈まない「**周極星**」となり、長い期間空のどこかで見つけることができます。このカペラには「**小さな雌やぎ**」という意味があります。



### ふたご座



ふたご座は2つの明るい星「**カストル**」と「**ポルックス**」が目じるしになります。カストルを望遠鏡で見ると、明るい星のそばにもう1つ暗い星を見ることができます。これは「**二重星**」と呼ばれる星ですが、実はこのカストルは二重星のまわりをさらに星がまわっている「**六重連星**」です。残念ながら6個全部は小型望遠鏡では見ることはできません。

ふたご座は、「ふたご座流星群」でも知られています。カストルのそばにある放射点から流れ星が四方八方にながれることからその名前がついています。

### イベント情報

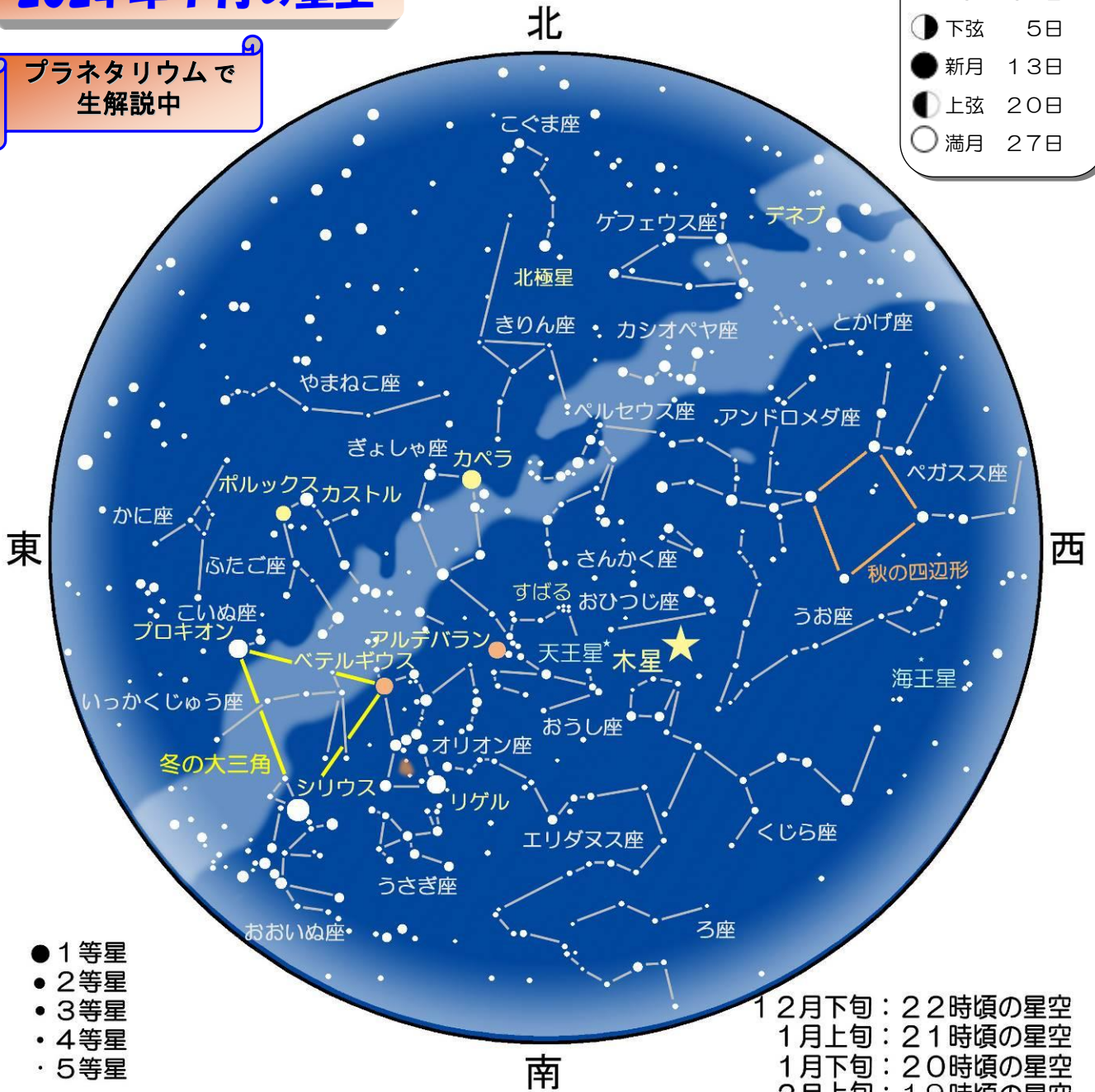
「冬の星座を観察しよう」と題してイベントを行います  
日時：令和6年1月13日(土) 午後6時30分～7時30分  
場所：国府町コミュニティセンター  
定員：25人（事前予約が必要です） **※事前予約はアストロパークへ**

# 2024年1月の星空

## 1月の月の暦

- ☾ 下弦 5日
- 新月 13日
- ☽ 上弦 20日
- ☾ 満月 27日

プラネタリウムで  
生解説中



12月下旬：22時頃の星空  
 1月上旬：21時頃の星空  
 1月下旬：20時頃の星空  
 2月上旬：19時頃の星空

☆1月になると、新しい気持ちになってなんとなくワクワクしますね。今年みなさんが美しい星空に巡り合えるように、星空案内を頑張りますのでよろしくお願いいたします。

☆明るい星が少ない秋の星たちが西の空に傾き、南から東の空にかけてにぎやかな冬の星たちが見えています。秋の星たちが沈む前に、「秋の四辺形」と「カシオペア座」を見つけておきましょう。双眼鏡があれば「アンドロメダ銀河」もおすすすめです。月明かりがない夜には、肉眼でも見えるかもしれません。☆南東の空には「冬の三大角」が昇ってきました。最初に「オリオン座」を見つけて、「ベテルギウス」から「シリウス」「プロキオン」とたどるといいでしょう。「オリオンの三ツ星」を右上に伸ばすと「おうし座」の1等星「アルデバラン」が見つかります。さらにその先の明るい星が「木星」です。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観望会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp